

第33回
日本映画
批評家大賞
ドキュメンタリー部門



ナレーション
吉岡秀隆

エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ

監督：オオタ ヴィン
「いただきます」シリーズ



自分のまよで
いいんだよ



夢みる小学校

完結編

テストがない、通知表がない、先生がいない『夢みる小学校』。
成長した”夢みる中学生”パートを追加した『夢みる小学校 ニューヴァージョン』です。



ドキュメンタリー映画 「夢みる小学校 完結編」 上映 95分
上映後 監督のビデオメッセージ

第38回
有料上映会
16ミリ試写室

2025年 **11月14日(金)**

① 10:30～ ② 13:50～ (開場 30分前)

横須賀市 文化会館 大ホール〈全席自由席〉

チケット料金 1,200円 (前売り 1,000円) 高校生以下無料

チケット料金の一部を市内の児童養護施設の支援に役立てます。

後援：横須賀市 横須賀市教育委員 (公財) 横須賀市生涯学習財団 (福) 横須賀市社会福祉協議会

チケット販売：

横須賀市文化会館

信濃屋書店 (若松町)

井出新聞店 (衣笠栄町)

アナザワフォト (追浜駅前)

☎046-823-2951

☎046-822-0405

☎046-851-0235

☎046-865-9963

主催：16ミリ試写室 <https://y16miri.com>

問合せ：☎090-2901-0862 (松澤)



まず、子どもたちを幸福にしよう。すべてはそのあとに続く。



夢みる中学生に会おう!



予告編
見てね!



ナレーション
吉岡 秀隆



エンディングテーマ
THE BLUE HEARTS『夢』

2020年に文部科学省の学習指導要領が「探究学習」に大きく舵を切りました。30年も前から「探究学習」を実践する認可校が「きのくに子どもの村学園」です。子どもの村学園に長期取材したドキュメンタリー映画『夢みる小学校』に、中学生パートを追加撮影した『夢みる小学校・完結編』の登場です！文部科学省選定映画『夢みる小学校』が、さらにアップデートしました。

ナレーションは、吉岡秀隆。エンディングテーマは ザ・ブルーハーツの『夢』。監督は『いただきます』『夢みる校長先生』『夢みる給食』のオオタヴィン監督。わくわくするシーンの連続、童心にかえったような初々しい感動。不登校生徒数が30万人に達し、日本の公教育が大きく揺れている今こそ、あなたの町の学校を変えるヒントを、この映画からみつけてください♡

監督:オオタヴィン 制作:まほろばスタジオ 2024年/本編95分/監督トーク映像10分

映画出演者コメント

子どもも楽しい、
教師も楽しい。
楽しくなければ
「学校」じゃ
ありません。



堀 真一郎
(きのくに子どもの村学園学長)

体験学習は、
AI時代に適応した
”脳のOS”を
つくります



茂木 健一郎
(脳科学者)

この映画は、
「教育の本質」を
みせてくれます。



尾木 直樹
(教育評論家)

ここには、
民主主義の原点
があります。



高橋 源一郎
(作家)

人生は
「問い」
の連続です。



辻 信一
(文化人類学者)

校則ゼロ。
公立学校も、
実は、
自由なんだよね。



西郷 孝彦
(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

16ミリ試写室



『16ミリ試写室』は1977年に発足。「どこでも素敵な映画館」を合言葉に、県や市の視聴覚ライブラリー所有の16ミリフィルムや映写機を活用し、視聴覚教育活動続ける女性のNPO団体です。横須賀市内の図書館やコミセンなどの社会教育施設、老人ホーム、障がい者施設、地域の集会室などで年間約70回の映画会を開催しています。さらに、「心に響くメッセージを廉価で届ける」を目的に、ドキュメンタリー映画を中心に有料上映会も開催しています。2013年春 地域交流支援活動奉仕団体として緑綬褒章を受章。



y16miri.com